



稲高だより

静岡県立稲取高等学校

令和7年9月19日

第6号(通算183号)

まこと いっくしみ つとめる
「誠 愛 力」

2学期始業式

2学期の始業式が行われ、校長先生からインターハイで活躍した齋藤君(ハンマー投げ7位入賞)の紹介と「成功は失敗の積み重ね」について話がありました。

皆さんは、高校入学時や1学期の始めに、大きな夢や目標を掲げたことと思います。その目標、立てたまくなってはいませんか?目標は立てるだけで終わりではありません。「立てる→やってみる→振り返る→修正する」このサイクルを繰り返すことで、少しずつステップアップし、目標に近づいていくのです。そして、挑戦した結果うまくいかなかったとしても、それは“失敗”ではありません。挑戦したこと自体に価値があり、そこから得られる学びこそが成長につながります。

「成功は失敗の積み重ねです。」失敗を経験することで、問題解決能力が高まります。原因を分析し、改善することで人は成長します。挑戦を続けることで、最終的には成功にたどり着くのです。皆さんも、一生懸命に取り組み、振り返りと修正を重ねながら、自分自身の成長のために努力を続けてください。それこそが、本校のグラデュエーション・ポリシーである「チャレンジ精神」と「忍耐力」です。

2学期の目標

21HR 板垣 匠真 さん(河津中)



私の2学期の目標は、部活動に今まで以上に真剣に取り組むことです。私は男子バレーボール部に所属しており、東部一位を目指して毎日練習に励んでいます。新しくコーチとして加わった方はバレーボールに非常に詳しく、今のチームに足りない部分を的確に指導してくださり、楽しく充実した練習ができています。今のチームのバレーが完成すれば、東部一位も夢ではないと思っています。その目標を達成するために、仲間と協力しながら、より一層努力していきたいです。

23HR 吉田 彩花 さん(河津中)



私の2学期の目標は、時間を大切にすることです。これまで、暇があるといふスマホを触ってしまい、気づけば何時間も無駄にしていたことがありました。これからは、アプリに時間制限をかけるなどの工夫をしながら、趣味や勉強に時間を充てられるようにしたいです。特に休日はスマホに長時間触れてしまいがちなので、外出や掃除などを通して気分をリフレッシュし、より有意義な時間の使い方を心がけたいと思います。

ボランティア部 7月~8月中旬

ボランティア部は今年も、東伊豆町の小学生を対象に夏休みの宿題サポートを行いました。国語や算数などの宿題を持参した児童に対し、部員たちは優しく丁寧に指導していました。

子どもたちの目線に立ち、分かりやすく説明する姿が見られ、温かく充実した支援活動となりました。

就職試験スタート 9月16日~

就職試験がスタートしました。進路実現のために、夏休み中にも多くの生徒が登校し、進路関係書類の作成や面接練習を行いました。8月18日(月)には伊豆下田法人会の皆様に、また8月19日(火)から22日(金)にかけてはPTA役員の皆様やハローワークの方々に面接官役を務めていただき、模擬面接を実施しました。生徒たちは練習の成果を発揮してくれることと思います。

稲取高校の教育活動に御協力いただき、誠にありがとうございました。



1年生 自己探究 7月25日～8月20日

1年生の自己探究では、学校内だけでは学べない「ヒト・モノ・コト」について、地域で活躍されている方を講師として依頼し、お話を伺ったり、体験したりする機会を得ました。（全8講座から選択）この活動を通して、地域の魅力や課題を知り、地域社会や自分自身の未来について深く考えることができました。



11HR 高橋 祐人さん（下田中）

私は、西伊豆や松崎でロケ誘致を通じて町のPR活動を行っている方のお話を伺いました。久石譲さんの「Summer」という曲を使用した短編映像が松崎高校で撮影された際には、ロケ地の選定やSNSでの情報発信など、さまざまな工夫をされていたことを知りました。当日は、実際のロケ地も紹介していただき、とても興味深くお話を聞くことができ、楽しい時間を過ごすことができました。今後も、地域の魅力を自分の目で探していきたいです。



13HR 鈴木 姫乃さん（南伊豆中）

私は南伊豆にある道の駅「湯の花」を訪れ、「地域の直売所が果たしている役割」について学びました。これまで私にとって直売所は身近にありながらも、あまり足を運ぶことのない場所でした。しかし、今回の訪問を通じて、直売所が町の活性化にとって非常に重要な役割を担っていることを知り、大きな発見となりました。今後は、今回学んだことをさまざまな場面で活かし、地域の魅力や取り組みにもっと関心を持っていきたいと思っています。



探究力向上集中ワークショップ 8月5日（火） 於：下田高校

京都芸術大学の吉田教授を講師に迎え、探究力向上集中ワークショップが開催されました。賀茂地区4校の生徒が受講し、稲取高校からは5名が参加しました。

探究活動の基本プロセスである「課題発見」「リサーチ」「解決策提案」を、賀茂地区の地域資源を題材に体験し、理解を深めることができました。その中で、地域の魅力や課題を探究テーマとして具体化する力を養うことができました。また、他校の生徒たちと共に学ぶことで、多様な視点を取り入れることの重要性を実感する貴重な機会となりました。



12HR 面尾 陽斗さん（熱川中）

このワークショップでは、グループワークにおける大切なポイントについて学びました。問題意識を共有することや、同じテーマでも人によってイメージが異なることを教えていただき、自分一人で考えるのではなく、他者と意見を交わしながら進めることの重要性を実感しました。また、課題の発見や情報収集を何度も繰り返すことが探究活動の質を左右すると聞き、今後の探究ではこの「情報収集」をより丁寧に行っていきたいと思いました。



吹奏楽部 第20回 定期演奏会 8月17日（日） 於：下田市民文化会館



32HR 田口 妃菜さん（河津中）

今年は第20回目の定期演奏会という節目の年にあたり、「二十の楽しみをお届けする」というテーマで開催しました。このテーマを実現するためには、振付・笑顔・技術のすべてが必要でした。しかし、部員一人ひとりの個性が強く、音がなかなかまとまらなかったり、振付を忘れてしまう人が多かったりと、何から手をつけてよいのか分からない状態が続きました。それでも、年に一度の貴重な機会に妥協してしまえば、良い演奏会にはならないと感じ、最後まで諦めずに練習に励みました。その結果、当日は来場された方々からお褒めの言葉をいただいたり、笑顔で帰っていただいたりと、悔いなく演奏会を終えることができました。

